





# 経皮的冠動脈形成術を受けられる患者さんへ (橈骨動脈穿刺・上腕動脈穿刺)

項目	月日	治療前日		治療当日		治療翌日以降
		治療前	治療後	治療前	治療後	
目標		積極的に治療に参加できる。	安全、安楽な状態で治療を受けることができる。	指示された安静を守ることができる。 気分不良や穿刺部の出血・痛み、上肢の知覚異常があれば看護師に知らせることができる。	退院後の生活の注意点がわかる。	
治療薬剤処置リハビリ		内服の継続・中止については医師の指示に従ってください。 手の動脈の所に印を付けます。	検査着に着替えて、時計、めがね、指輪、入れ歯等は、はずしてください。 血管造影室で点滴を行います。 	翌朝まで点滴は続けます。 出血防止のため、傷口はエアーバンドで圧迫しており、少しずつ空気を抜きます。腕は曲がらないようにシーネで固定します。治療後、帰室時に心電図をとります。治療直後とその後30分～1時間おきに血圧測定や状態の観察を行います。治療後、翌朝まで心電図モニターを装着します。	朝にエアーバンドを外し、傷口を消毒後、保護テープへ貼りかえます。保護テープは就寝前までに外しましょう。テープを長時間貼っていると皮膚トラブルの原因となります。	
検査		必要に応じて採血、心電図、レントゲンなどの検査を行います。	治療は2階の血管造影室で行います。治療へは車椅子またはベッドで行きます。	治療中、気分が悪くなったときは医師、看護師にお伝え下さい。治療後は、車椅子またはベッドで回復室へ入ります。	朝、心電図をとります。	
活動・安静度		医師の指示範囲内で自由に行動できます。	病棟内にいるようにして下さい。	治療終了後からトイレ歩行ができます。5時間後シーネをはずします。	問題なければ安静解除となり、病棟内を自由に歩けます。	
食事(栄養士の指導も含む)		特別な栄養管理の必要性【有・無】 減塩食 ※1日塩分6gです。 	午前の治療: 朝食はありません。 午後の治療: 昼食はありません。 ※水分はしっかりとってください。 治療後は圧迫や安静により右手が使いにくいことがあるため、スプーンの準備をお願いします。	吐き気などがなければ治療終了後より食事ができます。	減塩食 	
清潔		入浴できます。	入浴できません。		入浴できます。入浴する際は入浴前に保護テープを外しましょう。	
排泄		特に制限はありません。	特に制限はありません。		特に制限はありません。	
説明		主治医が治療の説明をします。ご家族の方も一緒に聞いて下さい。その後看護師が治療の説明をします。入院中、必要に応じて、薬剤師が薬について説明します。	治療後、1泊回復室へ移動します。薬、お箸、スプーン、コップなど必要な物はオーバートーブルに準備をお願いします。ご家族の方はデイルームでお待ち下さい。※バスタオルを1枚準備して下さい。	主治医が検査の結果についてご本人、ご家族へ説明します。 	安静解除後、午前9時以降に自分のお部屋に戻ります。	